

新型コロナウイルス感染症相談窓口

発熱等の症状がある方は、まずはかかりつけ医等の身近な医療機関に電話でご相談ください。かかりつけ医がない方、またはどこに相談してよいか分からない方は、「受診・相談センター」にご相談ください。

体調の変化を感じたら

- 不要な外出は控え、体温を測り記録しましょう。
- 症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。
- お子さまについては、小児科医による診察が望ましいので、症状がある場合は、かかりつけ小児医療機関に電話でご相談ください。

風邪のような症状、発熱、強いだるさ・息苦しさ

電話で相談

かかりつけ医がない方
どこに相談すればいいかわからない場合は

かかりつけ医など
身近な医療機関

診療・検査

※受診・相談センター、または診療機関を案内する場合があります。

受診・相談センター

0120 (567) 747

(24時間対応)

※従来の「帰国者・接触者相談センター」から名称が変更となりました。

【その他の相談窓口】

○福島県一般相談（コールセンター）

電話0120-567-177

平日 午前8時30分～午後9時

土日祝日 午前8時30分～午後5時15分

※耳の不自由な方は、ファックス

(024-521-7926)でご連絡ください。

平日 午前8時30分～午後9時

- 新型コロナウイルス感染症への感染の懸念から、医療機関の受診や健康診断を控える傾向が強まっています。必要な受診や健診を控えることは、病気の早期発見・早期治療に支障が出るなど、健康上のリスクを高めることとなります。適切な受診と健診を心がけましょう。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖・肘の内側などを使って口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

～感染症の予防について～

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い **正しい手の洗い方**

・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

② 手の甲をのばすようにこすります。

③ 指先・爪の間を念入りにこすります。

④ 指の間を洗います。

⑤ 親指と手のひらをねじり洗いします。

⑥ 手首も忘れずに洗います。

石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

手洗いの、5つのタイミング

公共の場所から帰った時



咳やくしゃみ、鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



前と後！

病気の人へのケアをした時



外にあるものに触った時



～感染拡大を防ぐために～

◇家庭内においても、「新しい生活様式」の実践にご協力をお願いします。

- ①必要に応じてマスクを着用する。
- ②こまめに手指消毒を行う。
- ③定期的に室内の換気を行う。

◇新型コロナウイルス感染症から自分を守ること、そして自分の大切な人を守る行動が、医療現場の負担を減らし、社会を守ることにもつながります。

◇咳エチケットや手洗い等の基本的な感染症対策の徹底、密閉、密集、密接の3つの密を避けましょう。

感染症拡大防止にご協力ください

